

# 04 Lifestyle

男たちよ  
目覚めなさい  
イラスト/ユリコフ・カワヒロ

## プロヒモに学ぶ 幸福なモテ方

### モ

テるためのファッションやレストランや不動産といった特集がいくつも掲げられている本誌でこういったことを書くのもアナキーなのでありますが、そうした言説をすべて無にする破壊力のある男性の存在を知りました。

プロヒモとして知られる、アラサー男性です。「高身長イケメン高収入」の対極ともいえる属性でありながら、大学時代から10年以上、10人以上の女性の家に住まわせてもらい、生活し続けているという驚異のヒモ。実態は著書にも描かれています。ただ、働かずに女性を搾取しているわけではなく、掃除、料理、お弁当作りから心のケアまでキメ細かく「主夫」的な仕事をこなすため、女性には感謝され、可愛がられて双方が幸福。世の「モテる」観だけでなく、「成功」や「パーパス」といったマッチョな発想すべてを転覆する痛快さです。

あるビジネスメディアのインタビューで彼は語ります。「カッコいいを目指すことは、カッコわるい」と。資本主義が決めた格好良さの基準の圏外のところ、無理せず弱さを見せ、むしろカワイイと思わせるのが彼のモテる戦略です。ストイックなまでに男磨きに

邁進する読者のみなさまから見れば、あれはないやり方でしょう。

しかし、「そんなヒモなら私も飼いたい」という多数の女性からの共感コメントを見て思ふのです。世間が暗黙裡に強いてくる高い理想に合わせようとして敗れ疲れた女性たちが、ありのままの自分に寄り添い、実生活をフォローしてくれる男性の安心感や居心地の良さに救われる思いがしているのだと、本当の格好良さとは、表面上のイケてる感や勝者感とはあまり関係がなく、むしろ、表面では語られない敗者の感情を救う温かさにあるのだと。

お金やルックスや仕事の能力でモテるのもひとつの道。一方、それらがなくても、武器はいくらでもあること、むしろ常識的な価値を覆したところに新たなモテる可能性が開けてくることに、「目覚めなさい」。

### カトリーヌ10世 Catherine X

#### PROFILE

グローバル化が進む  
社交界事情にも通じる。  
密かな趣味は  
人間観察とコスプレ。  
好きな飲み物は  
モンラッシュエ。  
日本ではほとんど  
知られていない、  
ある小国の女王  
とのウワサも!?

